



協会報

2018

発行日 毎月1日 通算発行 390号

10



今月のトピックス

平成30年度北陸建設業協会会長会議の開催

業界時報

石川県建設業雇用実態調査（平成30年7月）



《石川の工芸シリーズ⑨》

金沢21世紀美術館蔵〈平成16(2004)年 伊藤博氏寄贈〉 撮影 斎城 卓

菊時絵香台＜寺井 直次【大正元(1912)年-平成10(1998)年】＞

制作年／平成2(1990)年 サイズ／高さ2cm×直径8cm 技法／蒔絵

金沢市生まれの寺井直次は石川県立工業学校を経て東京美術学校工芸科漆工部に入学し、六角紫水、松田権六、山崎寛太郎らに師事。戦後、本格的に作家活動を始め、昭和60(1985)年に蒔絵部門で重要無形文化財保持者（人間国宝）に認定された。作品はアルミニウム素地の金胎漆器に卵殻を用いて菊が表現され、作者得意の技法が生かされている。描写的でありながら、幻想的な雰囲気を出している一品である。

“未来”を創り“ふる里”を守る建設産業

発行所 ● 一般社団法人 **石川県建設業協会**

〒921-8036 金沢市弥生2丁目1番23号
TEL (076) 242-1161(代) FAX (076) 241-9258

URL: <http://www.ishikenkyo.or.jp/>

CONTENTS 10

2018



《石川の工芸シリーズ⑨》

きくまき え ころごう
菊時絵香台

寺井 直次(てらい なおじ)

1	今月のトピックス	
	平成30年度北陸建設業協会会長会議の開催	1
2	最近の完成工事から	
	粟津温泉街における賑わいの創出について (都)粟津街なか線の完成	
	石川県南加賀土木総合事務所	2
3	平成29年度 土木部優良建設工事 知事表彰の紹介 vol.9	
	北都・高田・犀川 特定JV	4
4	雇用改善コーナー	
	工業系高校生(石川県立羽咋工業高等学校)の現場見学感想文②	6
5	地区協会コーナー	
	七鹿建設業協会の東京徒然日記	
	(一社)七尾鹿島建設業協会	8
6	会員リレーコーナー	
	①⑦太陽工業株式会社	9
7	今月の「輝き！」さん No.43	
	石田工業株式会社 播磨宗紀さん	10
8	おすすめ 県政出前講座 vol.2	
	金沢城の復元～第三期整備の推進～ 石川県土木部公園緑地課 金沢城・兼六園周辺整備グループ	11
9	協会だより	
	委員会の開催	12
	土木委員会	
	安全対策部会正副部会長会議の開催	12
	土地改良委員会	
	北陸農政局長及び次長着任表敬訪問	12
	県央農林安全対策協議会現場安全パトロール並びに研修会の開催	12
	広報・研修委員会	
	委員会の開催	13
	県政出前講座の開催	13
	暴力団等対策特別委員会	
	委員会の開催	13
10	石川県土木施工管理技士会だより	
	JCM特別セミナーの開催	14
11	業界時報	
	労働災害発生状況	15
	平成30年度 建設工事受注高調(元請)	15
	石川県建設業雇用実態調査(平成30年7月)	16
	平成30年度「建設業取引適正化推進月間」実施要領	22
12	会員消息	23
13	県協会からのお知らせ	23
14	地区協会からのお知らせ	24

◆ 今月のトピックス ◆

平成30年度北陸建設業協会会長会議の開催

本年10月16日(火)、石川県で開催される北陸建設業協会地域懇談会の運営並びに提案議題等の打ち合わせを目的とした石川、富山両県の協会会長会議が、9月28日(金)、ANAクラウンプラザホテル金沢で開催された。

会議には、(一社)石川県建設業協会から吉光武志会長以下16名の役員及び事務局職員が、(一社)富山県建設業協会からは竹内 茂会長以下9名が参加した。

会議は、冒頭、吉光武志石川県協会長の挨拶で始まり、議長に吉光会長を選出し下記のとおり議題審議が行われた。

・平成30年度地域懇談会の運営及び提案議題等について

地域懇談会開催要領及び地域懇談会における国土交通省及び全建からの提案議題について開催県である石川県協会の山岸 勇専務理事より説明がなされ、その後、北陸地域からの提案議題については、石川県協会山岸 勇専務理事、富山県協会牧田 潔専務理事からそれぞれ説明がなされ了承された。

続いて意見交換では、実効性のある地域懇談会の在り方、将来の担い手確保、(一社)新潟県建設業協会の地域懇談会への参加に向けた働きかけ等、活発な意見交換が行われた。



不慮の災害事故発生にそなえて

全建協連総合補償制度 自動車保険

お問い合わせは・・・・・・・・



石川県総合建設業協同組合

損害保険ジャパン日本興亜株式会社
損保ジャパン日本興亜保険サービス株式会社

TEL 076-231-7787

FAX 076-231-7766

〒920-0919 金沢市南町5-20
中屋三井ビル2F

最近の完成工事から

粟津温泉街における賑わいの創出について (都)粟津街なか線の完成

石川県南加賀土木総合事務所

1 はじめに

都市計画道路粟津街なか線は粟津温泉の中心部を通る重要な道路であるとともに、沿道には多くの人に親しまれている総湯や旅館が立地しており、温泉街の賑わいの中心となっています。

しかし、温泉客数については平成2年の約69万人をピークに減少傾向となっていました。

そのため、県、小松市、地元が一体となり、温泉街の賑わい創出と回遊性向上を図ることを目的に、まちづくりに取り組みました。

県では、平成19年度より道路拡幅とあわせた歩道整備や無電柱化などによる街並み整備に着手し、粟津温泉開湯1300年の節目となる本年7月に整備を終えました。



図-1 位置図



写真-1 整備前の状況



写真-2 整備後の状況

2 事業概要

路線名：都市計画道路粟津街なか線

事業箇所：小松市粟津町地内

事業期間：平成19年～平成30年7月

延長：L=385m

幅員：W=6～8m（現道幅4～6m）



図-2 標準断面図



写真-3 整備後の賑わい

3 まちづくり

小松市では、これまでに総湯のリニューアルや足湯の整備をするとともに、昨年度より廃業した旅館跡地において、お祭りやイベントを通じて交流できる「(仮称)栗津温泉交流広場」の整備を進めています。

また、県、小松市、地元が一体となり、平成19年に「栗津温泉街区まちなみ協議会」を設立し、歩道舗装や街灯のデザインを決定するとともに、古き良き「和」の温泉街空間を創造することを目指した「栗津温泉街区まちづくり協定」を策定するなど、様々な取り組みを行っています。



図-3 建物修景ルールの概要



写真-4 協定に基づき修景した建物

4 完成を祝う会

平成30年8月23日には、「栗津温泉街区まちなみ協議会」主催による「都市計画道路 栗津街なか線 完成を祝う会」が、知事、小松市長など多数の関係者列席のもと、盛大に執り行われました。

祝う会では、会場となった「(仮称)栗津温泉交流広場」において、完成を祝う鏡開きや、アトラクションとして栗津温泉こども園の園児による子供太鼓の披露が行われました。

さらに、祝う会に引き続き、「栗津温泉開湯1300年記念式典」が行われ、多くの人が集まり賑わいを見せました。



写真-5 鏡開き



写真-6 栗津温泉こども園の園児による子供太鼓

5 さいごに

県では、今年度より、栗津温泉街の更なる賑わい創出を図るため、栗津温泉のエントランスである、都市計画道路栗津津波倉線において、道路拡幅とあわせた歩道整備と無電柱化などによる街並み整備に着手したところであります。今後とも、地元の皆様と連携を図りながら、1日も早い完成に向けて整備促進に努めてまいります。

平成29年度 土木部優良建設工事 知事表彰の紹介

vol.9

施工企業名：北都・高田・犀川 特定JV

■工 事 名 県水送水管耐震化事業 送水管埋設工事
(金沢-1-53)

■工 事 分 野 上水道等工事

■施 工 場 所 金沢市赤土町～観音堂町 地内

■工 事 概 要

施工延長 L=269m

送水管布設工（推進 $\phi 900$ DIP-NS） L=261m

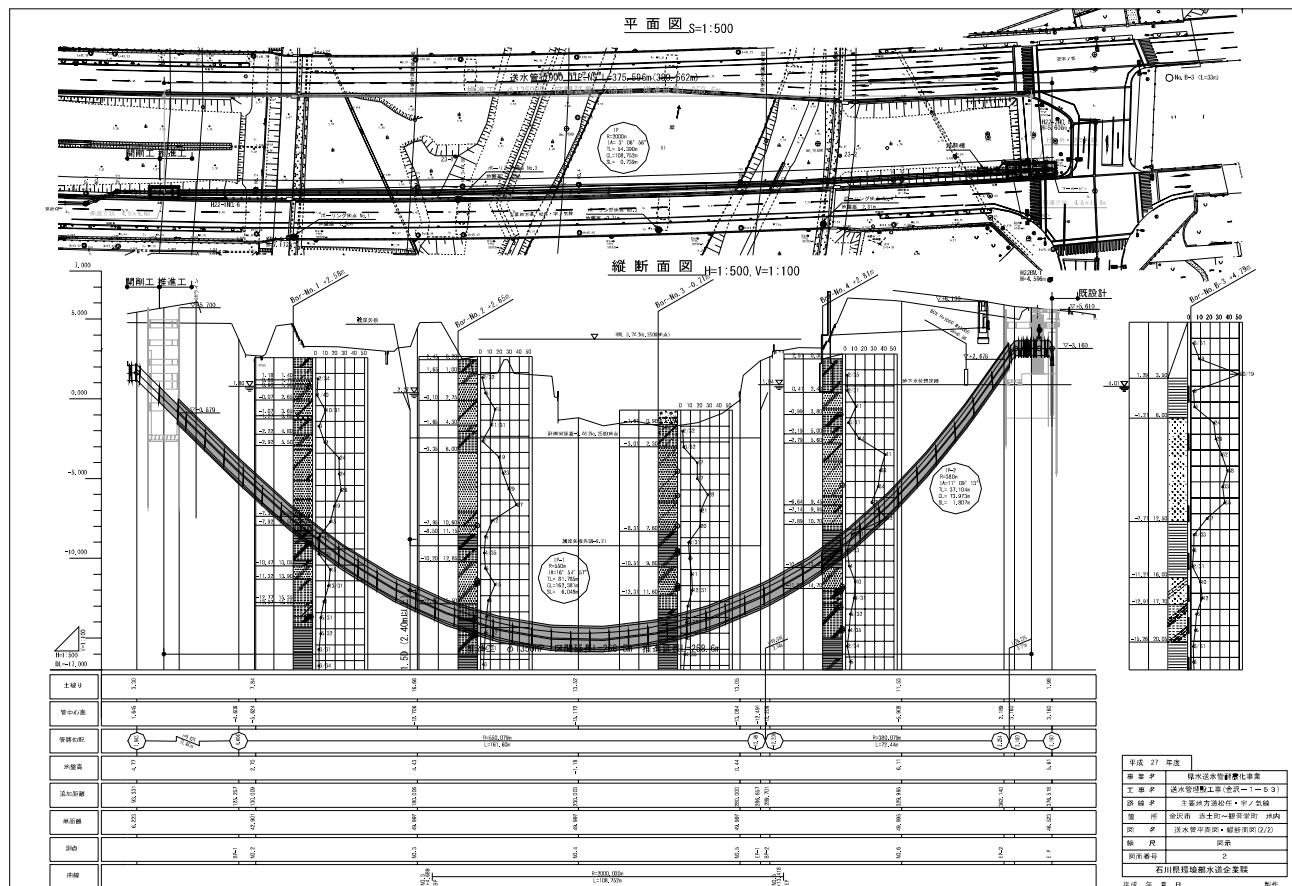


完成写真

■工 期 平成27年11月19日～平成28年8月31日

■推 薦 理 由

本工事は縦断曲線推進工法により送水管を二級河川犀川に下越し設置するものであり、推進延長が長いことから推進抵抗力を低減するために掘削機に特殊リングを装備するとともに土質の変化に合わせた泥水管理や切羽圧力管理により近接する海側幹線等の周辺地盤に影響を及ぼすことなく工事を完成させた。



送水管 平面図・断面図



掘進機 特殊拡張リング装備



掘削機面版 掘削地盤に適合した開口(率)



掘進機姿勢制御 シールド筒設置



自動追尾トータルステーション



上向き制御 (ピッチ角)



掘進機到達



急勾配発進掘進完了



最下部掘進完了



急勾配到達掘進完了

■現場代理人のコメント

現場代理人
本宮 茂氏

この度は、平成29年度優良建設工事知事表彰を受賞させていただきましたこと、ご指導いただきました発注者の皆様をはじめ、地元の方々、工事関係者の皆様には、心より感謝、御礼を申し上げます。

当工事は、犀川直下を横断する管路推進であり、護岸矢板と管路の離隔確保のため、急勾配発進、最下点からの急勾配到達、更には縦断・水平双方に曲線を含む三次元曲線施工という難易度の高い工事でした。推進精度が乱れると、送水本管を挿入する事が出来なくなるため、掘進機の姿勢制御管理には細心の注意を払いました。計測には自動追尾式トータルステーション等、自動かつリアルタイムに計測可能な機器類を積極的に活用することで、推進機の沈下や浮き上がり、ローリング等を防止し、安全かつ高精度に急勾配曲線推進工事を完成する事ができました。これからも本工事で学んだことを生かし、より安全により良い工事を行いたいと思います。

雇用改善コーナー

工業系高校生(石川県立羽咋工業高等学校)の現場見学感想文②

『道路を作るには莫大なお金がかかることが分かりました。』

建設造形科 3年 米谷竜樹

今日は、金沢外環状道路の海側幹線の四期区間を見に行きました。

その現場では、橋脚、橋台、場所打ち杭の工事を見てきました。

道路は、もともと田んぼだったところを通すものなので、軟弱地盤、液状化対策をしていました。対策として、深層混合処理機を使って、地中の土とセメントを混ぜた柱状、格子状の改良体を構築するものでした。また、柱をすきまなく造ってしまうと、地下水の流れを悪くしたり、余計にお金がかかってしまうなど、良くないことがあるので、わざと、すきまをつくっていると聞いてなるほどなと思いました。

工事には、莫大なお金がかかっていて、金銭感覚が狂いそうになるくらいでした。

『いろいろな施工方法を見ることができました。』

建設造形科 3年 山田龍東

金沢外環状道路海側幹線の現場を見学しました。この道路をつくることによって、加賀・金沢・能登が連結し、広域交通を促進するとともに、金沢港などの物流拠点へのアクセスが便利になります。

作業の内容も授業で習った事がある施工や、まったく知らない施工がありとてもおもしろかったです。工事現場でよく土が盛ってあるのをみかけますが、なぜあんなにくずれる事なく整っているのか疑問でした。それは、ジオグリッドというものを使用して、摩擦を起こすことによって形を崩さず保てるのだと知りました。現場に行ってお話を聞くことはとてもおもしろいと思いました。

『百聞は一見に如かず。』

建設造形科 3年 坂口陽音

金沢外環状道路海側幹線〔四期区間〕金沢市大河端町～福久町間の道路工事の現場を見学しました。この外環状道路の役割は加賀、金沢、能登の連携強化や陸、海、空の交流基盤の連結、都市圏の交通円滑化とともに災害時の緊急道路となるというものでした。この道路は垂直に河川や道路が交わっていることから盛土をして桁橋をかけたり、地盤が軟弱なために液状化がおこるのを防止するため対策としてオールケーシング工法を用いて基礎地盤まで柱状の改良体を構築するなどの工事が行われていました。

2ヶ所目は加賀湯の国橋の工事を行う現



場でした。ここでは実際に橋の下や橋の中まで見学させていただき、また、さまざまな橋の種類についておしえていただきました。

今日の現場見学で一番感じたことは、「百聞は一見に如かず」ということです。授業で習い、どんなに理解していたつもりでも、実際に現場に出てみるともっともっと理解を深めることができたように感じます。

『広域的ネットワークの強化が感じられました。』

建設造形科 3年 和泉美紀

金沢外環状道路海側幹線は国道8号と連結することで大動脈である国道8号や北陸自動車道、のと里山海道と一体になった広域的なネットワークが強化されて交流人口の拡大に寄与できます。北陸自動車道、日本海側の国際物流拠点港である金沢港、そして日本海側の拠点空港である小松空港といった陸・海・空の交流基盤が直結します。

このような新しい交通網を整備することでこれからの生活に役立つことがたくさんでき、生活しやすいまちづくりになると思いました。

『金沢外環状道路の重要性が理解できました。』

建設造形科 3年 中村遥人

金沢外環状道路海側幹線は平成18年に全線共用した山側幹線と一体となって金沢都市圏の骨格を形成し、交通の円滑化を図る重要な幹線道路だと知りました。加賀、金沢、能登を連結し、広域交流を促進するとともに、金沢港などの物流拠点へのアクセス強化を図ります。この現場では盛土や軟弱地盤、液状化対策に取り組んでいて、それに使う筒のようなものが1本100万円もすると聞いてびっくりしました。

湯の国橋上部工事では、橋の形が、箱型で地震に強い橋を造っていました。会社のある富山県で部品を作って、加賀の方に輸送しているそうです。

今日、現場見学で、見たことや習ったことを活かして僕も頑張りたいです。

『全線開通が待ち遠しいです。』

建設造形科 3年 府中亮太

最初に行った金沢外環状道路海側幹線の現場はすごく大規模な工事で驚きました。ただ道をつくるだけでなく、その道をつくるための土台をつくらなければいけないし、田んぼの上に土台をつくるとなると地盤の改良も必要になってくるとわかりすごく大変だと思いました。また交差する部分はいろいろな工夫をされていてすごいと思いました。僕は一期区間から三期区間までは今まで何回も通ってきているので、是非、早く四期区間が完成し全線開通した状態で通ってみたいと思いました。



地区協会コーナー

七鹿建設業協会の東京徒然日記

(一社)七尾鹿島建設業協会

1. はじめに

今回の投稿は3ヶ月前の行事で恐縮ですが、中々経験することのできない研修だったので、この紙面を借りてその一端を報告させていただきます。

時は、6月21日～23日の2泊3日。我々協会一同22名（ほとんどが会員の社長と事務局）は朝8時に大型バスで協会前を出発し一路東京に向かいました。

2. 初 日（6月20日：水）

初日は移動日で、昼食に横川の釜飯を口にし約8時間のバスでの旅を終え、無事東京都庁の見える新宿ワシントンホテルに到着しました。そして夜は盛りだくさんの焼き肉を腹一杯食べ、初日を終わりました。

3. 2日目（6月21日：木）

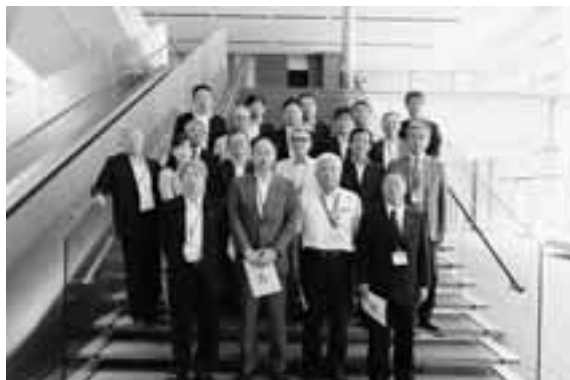
この研修のメインである2日目は、まず修学旅行以来の皇居、二重橋等を見て、今回の大きな目的である総理官邸の中を隅々まで案内していただきました。また組閣の際に目にする赤絨毯の敷いてある階段に参加者全員が大臣になったつもりで記念撮影できたのも大きな喜びであり、感慨深いものがありました。それからいつもテレビで拝見している官房長官談話の演台を前にして、皆が総理や長官になったつもりで一人ずつ写真撮影できたのも大きな収穫（みやげ）でした。その後官邸をあとにして昼食を済ませたのち、国会延長の採決で多忙な岡田先生も少し時間を割いて我々に会いに来てくださいました。

午後からは「赤坂迎賓館」の煌びやかな造りを見て感動し、その後七尾市出身の西田代議士と秘書の方に本会議場や予算委員会室、衆参議長室等をはじめとした国会内の中枢を詳細に案内して頂きました。それから、近くの衆議院会館内の西田代議士の部屋を訪れ、皆が先生の椅子に座って記念写真を撮影し一路新宿のホテルに向かいました。そして、その夜は代議士を囲んで夕食会を開催し、いろいろと終盤国会の情勢等について語り合い、2日目を終わりました。

4. 最終日（6月22日：金）

大きな目的も終え、最終日はただバスに乗って帰るのも芸がないので、中央自動車道経由で帰り、途中、山梨勝沼のサクランボ、桃のフルーツ狩りとシャトー勝沼ワイナリーの工場見学をし、その中でワインの試飲もして心地よく七尾に向かい無事午後8時頃に協会前に着きました。

最後に、本当に杵も少なく徒然に思い出して執筆したので、乱筆となったことにお許しを頂き、是非他協会（ちなみに珠洲協会は前の週に行っています）の皆様方も国会や総理官邸に足を運ばれてはと思います。



①総理官邸内の階段より七鹿協会の各大臣



②田村七鹿協会総理の会見

会員リレーコーナー

⑪⑧ 太陽工業株式会社
(所在地：小松市一針町イ18番地)



社 章

弊社は、昭和44年5月に道路舗装工事を業務とする会社として設立されました。その2年後の昭和46年から私の祖父である清水武敏（現会長）が経営を引き継ぐことになり今日に至ります。

その間、加賀営業所、白山営業所等の開設、エービーコンサルタント(株)及び(株)太陽アスコンといった関連会社の設立等事業拡大に努め、来年5月で創業50周年を迎えます。

会社設立当時は、信用、人材そして技術力と満足なものはどれ一つなく、とても不安定な状態だったそうで、経営者として社会資本の整備に関わりながら、「地域に根の張った企業を育てたい」、「社会に貢献したい」との強い信念があり頑張れたと祖父から何度も聞かされました。

この50年の歩みの中で節目となる出来事が二つあります。一つは古くなったアスファルト舗装をめくった廃材をアスファルト混合物として再利用するプラントを昭和58年に県内で初めて導入しました。今ではごく当たり前のことですが、当時としては画期的なもので、県内に再生アスファルトを製造している会社は一社もなかったため、何かと社会問題となっていた産業廃棄物対策の先鞭をつけられたと思っています。

もう一つは、平成に入ってすぐに、新たな試みとして中国から輸入した御影石の販売と石材工事業を始めました。当初は注文と違うものが届いたり、変なものが混ざったりと、困ったことが何度もありましたが、そのようなことを除けば、この事業を行っている会社が少なかったことから事業は順調で、兼六園をはじめ県内外の公園、広場に弊社が輸入した御影石が沢山使われました。こ



社 屋

のことににより各地に潤いと安らぎの空間を生み出すこともでき、ホンモノを使うことによって自然と調和した社会資本整備に取り組めたと思っています。

近年ICT建設機械の活用等による労働環境の改善が提言されています。弊社でも数年前からICT施工に取り組んでおり、設計データの作成や機械・機器類のリース等に経費がかさむものの外業作業の短縮や内業作業の軽減が図れるので、その有用性に着目していました。

そんな中、思いがけず国土交通省北陸地方整備局より、平成30年度のICT活用工事成績優秀企業の認定を受けることができましたことは、社員一同の励みとなりました。今後も技術の習得に一層努めて行きたいと考えています。

最後になりますが、マスコミ報道では働き方改革、担い手確保という言葉を聞かない日はないくらい話題になっております。弊社においても様々な課題があり今年1月に就任したばかりの新米社長ですが決断を求められる事も多々あります。祖父の思いを受け継ぎ一歩ずつ慌てず、社員の為、会社と地域の為に汗をかき、より良い職場環境を作れるよう努力して行くと共に、業界の発展にも寄与していきたいと思っております。

次回は田上建設株式会社 代表取締役 田上淳一さんにバトンをお渡ししますので、よろしくお願いいたします。

(太陽工業株式会社 代表取締役 清水廉太郎)

今月の「輝き！」さん

No. 43



石田工業株式会社 播磨宗紀さん

業 種：現場監督
経験年数：12年
年 齢：39歳

志賀町栢木の石田工業株式会社に今月の輝きさんの播磨宗紀さんをお訪ねし、いろいろお伺いいたしました。

—あなたのご紹介と会社の概要について教えてください。

出身地は地元志賀町の大島です。家族は父と妻と子供2人の5人家族です。

羽咋工業高校の建設造形科の1期生で卒業後東海大学に進学。今の会社に入って12年目です。会社は昭和21年創業で近年は学校や病院などの建築工事も多く手がけていますが主力は土木の会社です。

—建設業に入られた動機は？

羽咋工業高校の時から大きな構造物とか土木の仕事がしたいと考え大学に進学しました。卒業後は自然の成り行きというか当たり前のように土木の会社に入りました。

—これまでどのようなお仕事をしてくれましたか？ また、特に思い出に残っている仕事がありますか？

これまで主に道路や下水道の工事をしてきました。特に思い出に残っているのは大型風車の設置工事の基礎となる躯体工事で1日500m³のコンクリートを打設したことです。朝の5時半から作業を開始し、仕上げも含めて終わったのが午後9時を過ぎていました。大変でしたが終わってからの達成感は格別なものがありました。

—スマートでスポーツマンみたいな体格ですが何かスポーツをされていたのですか？

中学の時は陸上をしていました。高校の時から（東海大学時代も）ヨットをやっていてインターハイや国体にも出場しました。（羽咋工業高校のヨット部は全国的にも活躍）

—お休みの日はどう過ごされていますか？

今はスポーツは特に何もやっていませんが、子供（娘）が陸上競技をしており、練習や大会について行ったりと子供中心の生活です。

—最後に今後の目標、抱負などお聞かせください。

現在、弊社でもICT工事を行っております。これから益々ICT工事が増えると思うので、新しい技術を身に着け、工事現場のイメージ改善を図り若い人にも興味を持ってもらえるような現場にしていきたい。



けんせつ一番星☆

「-Sunset Express-MOVE」毎月第4火曜日 18:00～18:05

エフエム石川で毎回、建設業界で働く業界のホープ「けんせつ一番星☆」の方にインタビューし建設業界の魅力や仕事への意気込みなどに迫ります。

是非お聞きください。

おすすめ 県政出前講座 vol.2

今月のテーマ

金沢城の復元 ～第三期整備の推進～

石川県土木部公園緑地課 金沢城・兼六園周辺整備グループ

「金沢城の復元」では、金沢城の歴史から、現在行っている金沢城公園の整備について説明を行います。今後の整備についての説明も行います。

説明は大きく分けて、以下の内容になっています。

1. 金沢城の歴史 ～近世城郭～陸軍～大学

現在の金沢城公園が一向宗の拠点だった頃から、平成までの歴史を説明します。

2. これまでの整備 第一期～第二期

金沢大学が郊外移転して金沢城公園の整備が始まってから、北陸新幹線金沢開業までの公園整備について説明します。



3. 現在・これからの整備 第三期整備

北陸新幹線金沢開業以降の金沢城公園の整備について説明します。



県政出前講座について

【テーマは何種類？誰が説明？】

県政出前講座では、上記で紹介したテーマの他、約140件のテーマからお好きなテーマを選ぶことができます。説明は各テーマ担当課職員（県庁職員）が説明します。

【費用と所要時間は？】

職員の派遣に関する費用（旅費・軽微な資料代など）は、不要ですが、会場は申込団体でご用意ください。講座の所要時間は1時間から1時間30分程度です。

【受講する人員は？】

おおむね10人以上から受講できます。

【申し込み方法は？】

石川県ホームページから（<http://www.pref.ishikawa.lg.jp/kenmin/demae/>）詳しい申し込み方法をご覧ください。ただけです。「石川県 出前講座」で検索してもすぐ見つかります。

パンフレットをお求めの方は、石川県広報広聴室までお問い合わせください。

（石川県広報広聴室 電話：076-225-1362 メール：e130500b@pref.ishikawa.lg.jp）

協 会 だ よ り

委 員 会 の 開 催

土木委員会

◎安全対策部会正副部会長会議の開催

土木委員会安全対策部会(部会長 林 登良夫)は、去る9月28日(金)に石川県建設総合センター会議室において、安全対策部会の正副部会長会議を開催した。今回の部会は11月に実施する「平成30年度工事現地検討会」に向けての対応すべき事項について、以下のとおり審議が行われた。



○実施日及び対象工事について

- ・実施日を11月6日(火)、予備日を11月7日(水)～8日(木)とすることで「工事現地検討会班長会議(前期)」に提案し、各班長から石川県各土木総合事務所と日程調整及び対象工事選定を行ってもらうこととした。

○班長推薦について

- ・5班(南加賀班、白山野々市班、県央班、中能登班、奥能登班)の班長を10名推薦(各班2名)した。

○各班構成員選出について

- ・班長会議(前期)で、各班構成員を選出することとした。

○工事現地検討会実施要領について

- ・記載内容を了承した。

○今後のスケジュール

- ・工事現地検討会の実施に向けての対応すべき事項と内容を確認した。

○班長会議(後期)の開催日程について

- ・12月上旬～中旬に行うことを確認した。

土地改良委員会

◎北陸農政局長及び次長着任表敬訪問

9月5日(水)午前11時から当協会土地改良委員会の真柄委員長、西副委員長、岡田副委員長、小倉副委員長、米田常務理事の5名で奥田局長と平岩次長を表敬訪問した。

真柄委員長は奥田局長と平岩次長着任への挨拶を行い、地域の実情や要望などの懇談が行われた。



◎県央農林安全対策協議会現場安全パトロール並びに研修会の開催

県央農林安全対策協議会(会長 豊蔵享一)は、9月11日(火)に平成30年度現場安全パトロール及び研修会を開催した。

豊蔵会長を始め会員企業20社21名と、行政から金沢労働基準監督署の山口仲裁安全衛生課長、県央農林総合事務所の梅田 勉所長を始め14名の職員に、事務局(森林土木協会、建設業協会)2名の総勢38名参

加のもと開催された。

現場パトロールは、平成29年度災害関連緊急治山事業「小菱池地区」山腹工事(施工者:(株)平田組)で実施しました。

山腹工事は、崩れた法面を法枠工と土留工で復旧し、県道を崩壊から守る工事である。

現場では、県央農林総合事務所の現場監督員から工事概要の説明の後、請負者の現場代理人より安全対策等の取り組みの説明があり、山口安全衛生課長から工事の安全管理にあたり、それぞれの現場に応じた注意点などの指導が行われた。

特に、山口課長からは、狭隘で急な山腹のため、現場にあるクレーン付掘削機械などの操作について安全管理対策を十分行うよう指導を受けた。

続いて開催された研修会は、豊蔵会長、梅田所長の挨拶の後、山口課長の「工事現場における安全管理」と題する講演では、平成30年度から始まる13次労働災害防止計画(死傷者減少、熱中症災害減少、メンタルヘルス対策等)、掘削機械転倒防止のパトロールポイントや墜落防止の安全帯使用の際の留意点などについてを画像で分かり易く説明がなされた。



現場安全パトロール



研修会

広報・研修委員会

◎委員会の開催

広報・研修委員会(委員長 高田直人)は、9月19日(水)午後3時からホテルANAホリデイ・イン金沢スカイにおいて委員会を開催した。冒頭、高田委員長の挨拶が行われた後、下記事項について審議・報告を行った。

- 1 協会報10月号について
事務局説明の編集計画が審議され承認された。
- 2 研修所からのお知らせ
経営者・管理者のためのICT講習会の開催予定について報告がなされた。



◎県政出前講座の開催

委員会に続き、同所で「県政出前講座」が開催され、講師の石川県立図書館史料へんさん室 石田文一専門員から、「石川県の歴史を探る」と題して講演をいただいた。石田専門員からは、全国から蒐集した加賀・能登関係の史料に基づき、上杉謙信の動向と加賀・能登について詳細な説明をいただき、郷土の古代・中世の歴史の一端に触れる大変有意義な講座となった。



暴力団等対策特別委員会

◎委員会の開催

暴力団等対策特別委員会(委員長 小倉 淳)は、9月26日(水)石川県建設総合センター401会議室において委員会を開催した。

冒頭、小倉 淳委員長から「業界に対する暴力団等の介入や不法行為は鎮静化の状況にあるが、このような時こそ隙が生じないようにしなければならない」と挨拶があり、続いて事務局より平成30年度の委員会の活動計画が提示され承認された。その後、来賓としてお招きした県警察本部組織犯罪対策課 表 豊課長補佐から「暴力団情勢と対策について」、(公財)石川県暴力追放運動推進センター田中茂義次長から「センターの活動状況について」と題して講演をいただいた。委員会は、この後暴力問題等に関する質疑応答が行われ閉会した。



石川県土木施工管理技士会だより

JCM 特別セミナーの開催

石川県土木施工管理技士会(会長 江口介一)は、9月19日(水)に石川県建設総合センター第一研修室においてJCMセミナーを開催した。

この講習会はグループ形式にて、「ICT活用による原価低減、工期短縮」・「経営事項審査評点アップ」の2つのテーマについてハタコンサルタント株式会社代表取締役の降旗達生氏が講義を行った。講習を受講することにより、CPDSが7ユニット付与される。

今回は27名の参加があり、様々な課題をグループにて取組む中で積極的な意見交換が行われ、大変、有意義な講習となった。



歩行者事故防止運動

実施日 10月21日(日)～10月30日(火)



石川県・石川県交通安全推進協議会

業 界 時 報

労働災害発生状況
～建設業労働災害防止協会～

署別・業種別件数（平成30年分）

平成30年8月末 速報

業種別 署別	土木工事	建築工事	設備工事	計	前年同期	全産業
金沢監督署	5	(5) 23	16	(5) 44	① (5) 45	⑤ 474
小松監督署	9	① (4) 7		① (4) 16	① (3) 14	① 187
七尾監督署	3	(5) 6	8	(5) 17	② (3) 15	① 83
穴水監督署	1	(5) 5		(5) 6	② (4) 10	① 43
計	18	① (19) 41	24	① (19) 83	⑥ (15) 84	⑧ 787
前年同期	③ 15	① (15) 48	② 21	⑥ (15) 84	⑥ (15) 84	⑩ 667

()内は木建工事 ○内は死亡者数

平成30年度 建設工事受注高調（元請）

民 間

（単位100万円）

	土 木			建 築			計		
	30年度	29年度	%	30年度	29年度	%	30年度	29年度	%
6 月分	413	414	99.8%	2,980	4,027	74.0%	3,393	4,441	76.4%
7 月分	240	618	38.8%	1,832	2,035	90.0%	2,072	2,653	78.1%
8 月分	501	397	126.2%	1,853	2,860	64.8%	2,354	3,257	72.3%
年度累計	1,656	2,583	64.1%	11,689	15,339	76.2%	13,345	17,922	74.5%
28年度累計		2,332	71.0%		9,610	121.6%		11,942	111.7%
27年度累計		1,535	107.9%		16,388	71.3%		17,923	74.5%

官 公 庁

	土 木			建 築			計		
	30年度	29年度	%	30年度	29年度	%	30年度	29年度	%
6 月分	3,827	2,283	167.6%	1,694	1,587	106.7%	5,521	3,870	142.7%
7 月分	5,147	5,128	100.4%	610	1,244	49.0%	5,757	6,372	90.3%
8 月分	3,627	3,484	104.1%	1,299	1,481	87.7%	4,926	4,965	99.2%
年度累計	15,947	13,305	119.9%	4,295	5,386	79.7%	20,242	18,691	108.3%
28年度累計		18,729	85.1%		8,494	50.6%		27,223	74.4%
27年度累計		18,891	84.4%		4,935	87.0%		23,826	85.0%

合 計（民間＋官公庁）

	30年度	29年度	%
6 月分	8,914	8,311	107.3%
7 月分	7,829	9,025	86.7%
8 月分	7,280	8,222	88.5%

	30年度	29年度	%
年度累計	33,587	36,613	91.7%
28年度累計		39,165	85.8%
27年度累計		41,749	80.4%

石川県建設業雇用実態調査（平成30年7月）

1. 調査概要

調査の目的

建設業就業者の高齢化、担い手不足の実態を把握し、今後の担い手対策を検討するため県内456社にアンケートを実施した。183社から回答をいただいた。（回答率40.1%）
平成27年7月に続き2回目の調査。

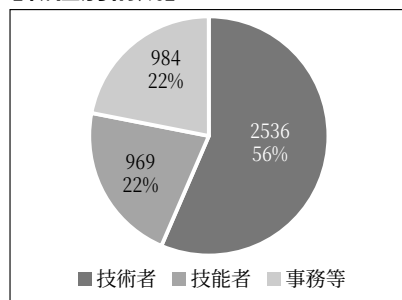
2. 調査結果

(1) 現在の就業状況

①職種別構成

- ・183社の従業員総計は4,489名（内女性598名）であり、うち技術者は2,536名（内女性123名）構成率56%、技能者は969名（内女性16名）構成率22%、事務・営業等（以下 事務等）は984名（内女性459名）構成率22%となった。

【職種別構成】

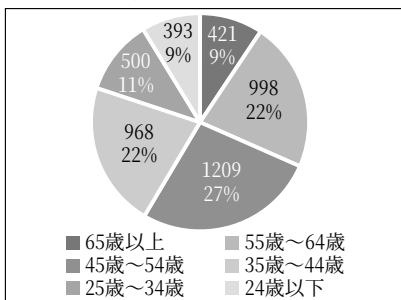


合計4,489名

②年齢別構成

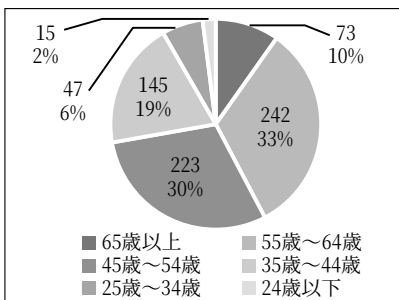
- ・就業者全体の年齢別構成は、65歳以上421名（9%）、55歳以上～64歳998名（22%）、45歳～54歳1,209名（27%）、35歳～44歳968名（22%）、25歳～34歳500名（11%）、24歳以下393名（9%）となっており、55歳以上が31%に対し、34歳以下が20%
平成27年調査に比して、高齢者の率及び若年者の率はほぼ同程度と大きく変化なし。
- ・今後10年間には団塊世代の大量退職を控えており、担い手確保が喫緊の課題
- ・地域別では55歳以上が奥能登管内で43%、中能登管内で45%、34歳以下が奥能登で8%、中能登で10%と県平均に比べて高齢化が顕著である。

【年齢別構成】



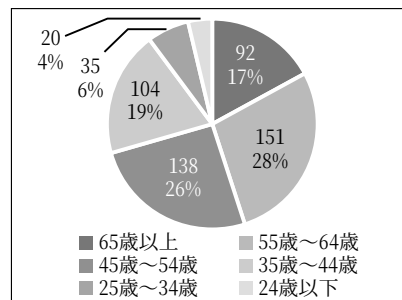
合計4,489名

【奥能登管内】



合計745名

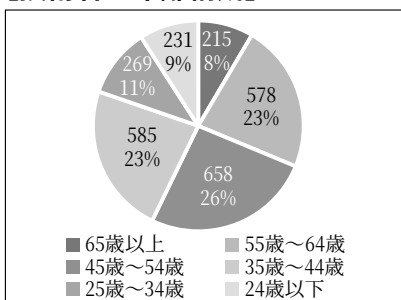
【中能登管内】



合計540名

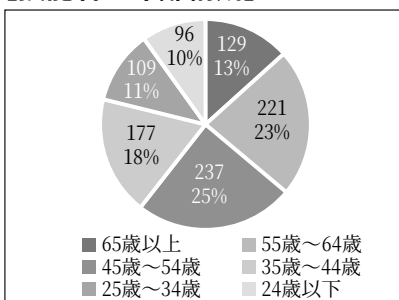
- ・技術者技能者及び事務等の年齢別構成は、従業員全体とほぼ同様の傾向であり、平成27年調査内容と大きな変化がない

【技術者の年齢構成】



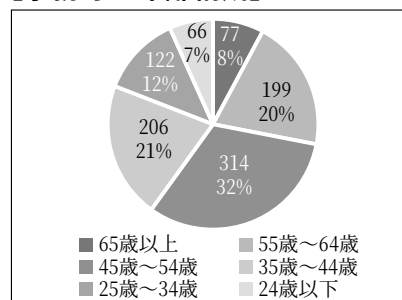
合計2,536名

【技能者の年齢構成】



合計969名

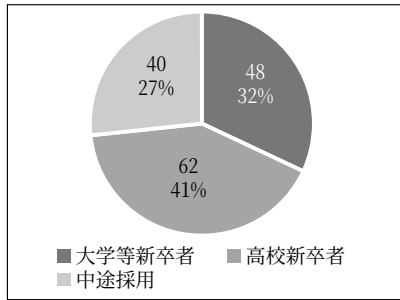
【事務等の年齢構成】



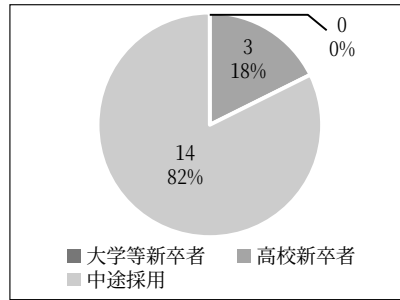
合計984名

(2) 今年度の採用実績

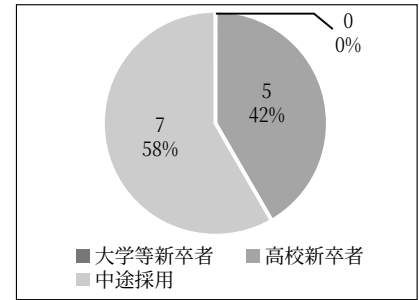
- ・183社のうち56社（31％）で150名の採用があった。内訳として大卒で48名（32％）、高卒で62名（41％）。中途採用で40名（27％）となっている。
平成27年調査に比して大卒の率が増加し、中途採用の率が減少している。
- ・地域別では奥能登管内及び石川管内では大卒等の採用はなく、中途採用がそれぞれ82％、58％と多くなっている。

【採用実績】

合計150名

【奥能登管内】

合計17名

【石川管内】

合計12名

- ・従業員規模9名以下では70社中8社（11％）、従業員10名～29名では76社中21社（28％）しか採用がなく求人に苦勞している様子がうかがわれる。

会社規模	会社数	採用人数	採用会社数	採用会社率
100人以上	4社	58人	4社	100%
30～99名	33社	46人	23社	70%
10～29名	76社	30人	21社	28%
9名以下	70社	16人	8社	11%
計	183社	150人	56社	31%

- ・地区別採用では奥能登地区で51社中9社（18％）、中能登地区では24社中3社（13％）と県平均と比べて低い状況である。

地域	会社数	採用人数	採用会社数	採用会社率
県央地区	58社	93人	26社	45%
南加賀地区	28社	18人	11社	39%
白山地区	22社	12人	7社	32%
中能登地区	24社	10人	3社	13%
奥能登地区	51社	17人	9社	18%
計	183社	150人	56社	31%

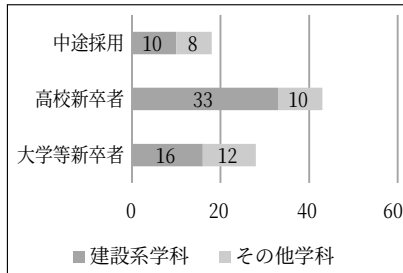
・職種別では

- ・技術者では89名が採用されており、大卒28名（32%）、高卒43名（48%）、中途採用18名（20%）。
- ・技能者では33名採用で大卒6名（18.2%）、高卒13名（39.4%）、中途採用14名（42.4%）。
- ・事務等では28名採用で大卒14名（50%）、高卒6名（21%）、中途採用8名（29%）。

技能者、事務等での中途採用が多く見受けられた。

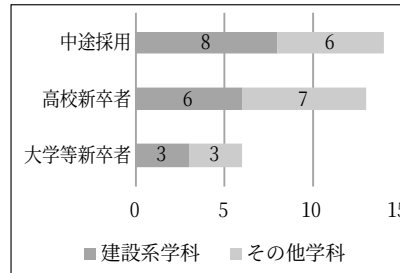
また、技術者では建設系学科卒でない方が増加している。

【技術者の採用状況】



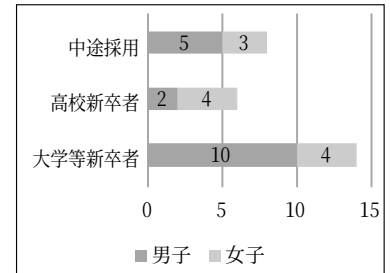
合計89名

【技能者の採用状況】



合計33名

【事務等の採用状況】



合計28名

(3) 今年度採用人数の充足度

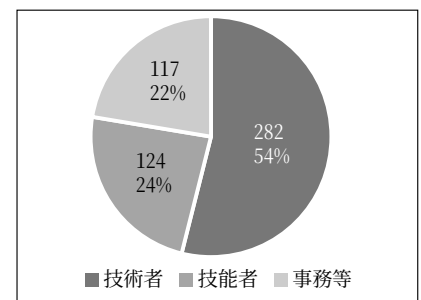
採用があった56社のうち計画より採用人数が上回った会社は3社、下回った会社は14社であった。

(4) 今後5年間の退職見込

- ・183社の全従業員4,489名のうち12%の523名の退職が見込まれている。

内訳は技術者282名（54%）、技能者124名（24%）、事務等117名（22%）となっている。

【今後5年間の退職見込】（職種別）

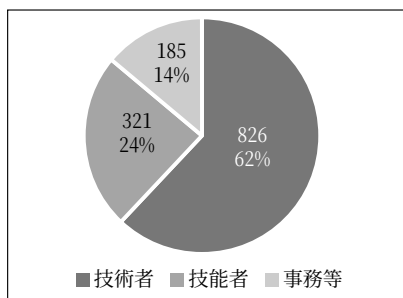


合計523名

(5) 今後5年間の採用計画

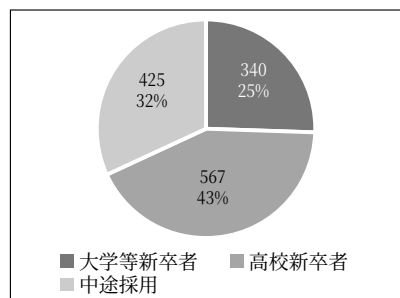
- ・183社で退職見込み523名の約2.5倍の1,332名の採用が計画されており、このうち技術者は826名（62%）、技能者は321名（24%）、事務等が185名（14%）となっている。

【採用計画】（職種別）



合計1,332名

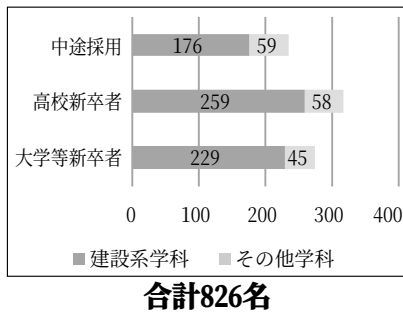
【採用計画】（学歴別）



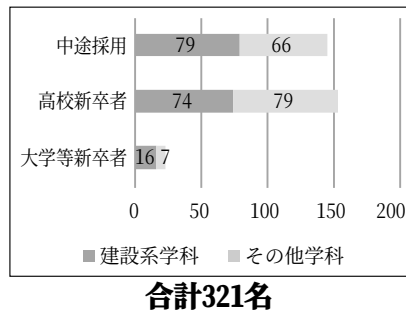
合計1,332名

- ・特に技術者は退職見込みの約3倍、技能者は退職見込みの約2.6倍を計画するなど現在での技術者・技能者不足を解消して将来に備える意識が高い。

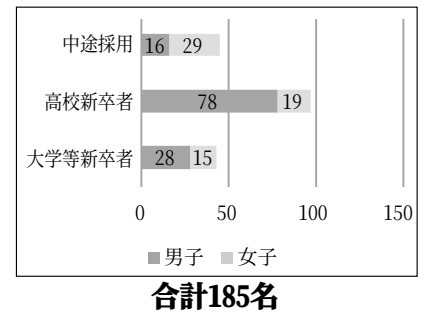
【今後5年間の技術者採用予定】



【今後5年間の技能者採用予定】



【今後5年間の事務等採用予定】



- ・一方、183社のうち、今後採用を予定する会社は145社（79%）、採用予定なし又は未定は38社（21%）となっている。

特に従業員規模9名以下では70社中43社（61%）と県平均を下回っている。

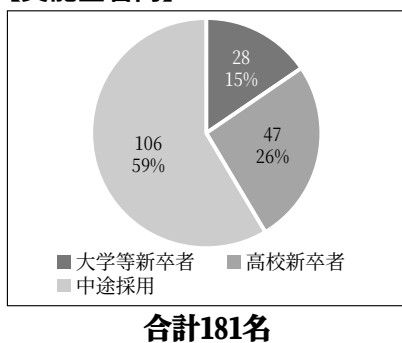
- ・学歴別では大卒340名（25%）、高卒567名（43%）、中途採用425名（32%）となっている。

会社規模	会社数	採用予定人数	採用予定会社数	採用予定会社率
100人以上	4社	273人	4社	100%
30～99人	33社	437人	31社	94%
10～29人	76社	452人	67社	88%
9人以下	70社	170人	43社	61%
計	183社	1332人	145社	79%

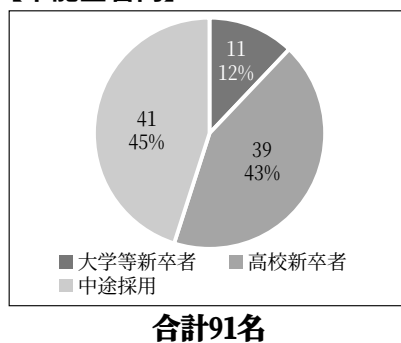
【職種別採用計画：全体】

- ・職種別では技術者では826名の採用予定があり大卒274名(33%)、高卒317名(38%)、中途採用235名(29%)であり、技能者では採用予定が321名で大卒23名(7%)、高卒153名(48%)、中途採用145名(45%)
- ・地域別では県平均に比べて中途採用予定が奥能登管内で59%、中能登管内で45%と特に高くなっている。

【奥能登管内】



【中能登管内】



女性従業者調査

1. 調査の目的概要

この調査は、建設業における女性従業者の実態を把握し、今後の女性活躍推進対策を検討するため実施。

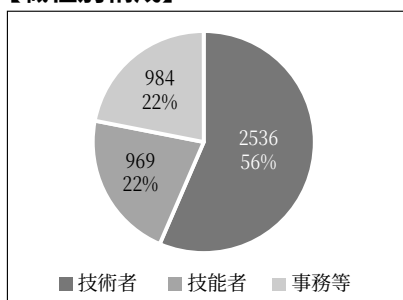
2. 主な調査結果

(1) 現在の就業状況

①職種別構成

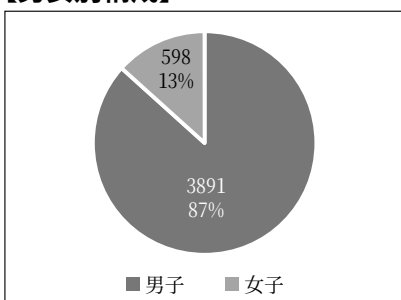
- ・183社の従業員総計4,489名のうち女性は598名（13%）、技術者は2,536名のうち女性は123名（5%）、技能者は969名のうち女性は16名（2%）、事務等は984名のうち女性は459名（47%）となっている。
- ・女性従業員598名のうち技術者123名（20%）、技能者16名（3%）、事務等459名（77%）となっている。

【職種別構成】



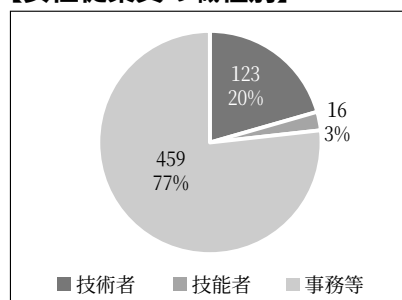
合計4,489名

【男女別構成】



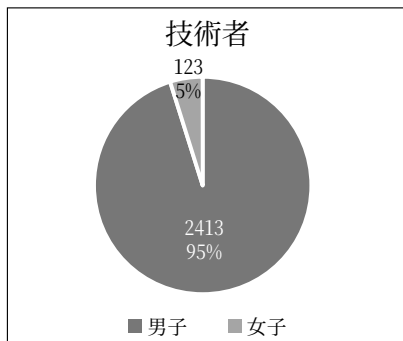
合計4,489名

【女性従業員の職種別】

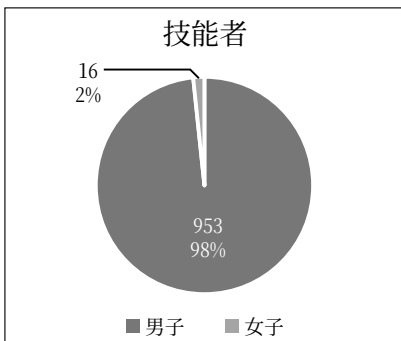


合計598名

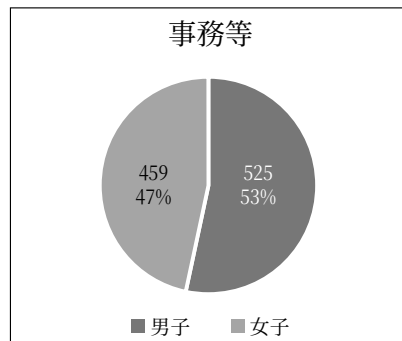
【職種別男女構成】



合計2,536名



合計969名

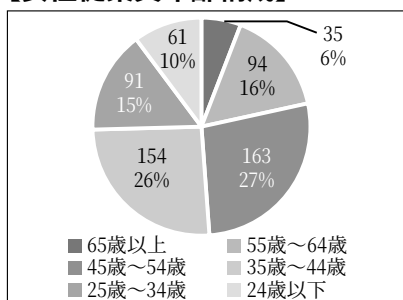


合計984名

②年齢別構成

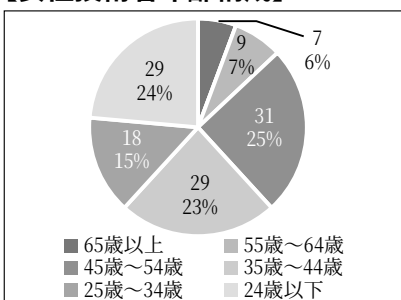
- ・女性従業員全体の年齢別構成は、65歳以上35名（6%）、55歳以上～64歳94名（16%）、45歳～54歳163名（27%）、35歳～44歳154名（26%）、25歳～34歳91名（15%）、24歳以下61名（10%）となっており、55歳以上が22%に対し、34歳以下が25%となっている。

【女性従業員年齢構成】



合計598名

【女性技術者年齢構成】

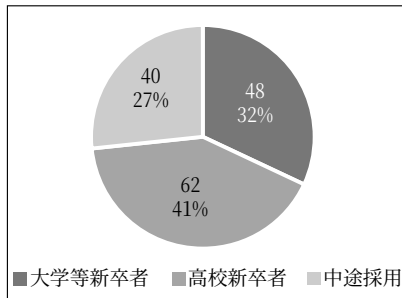


合計123名

(2) 今年度の採用実績

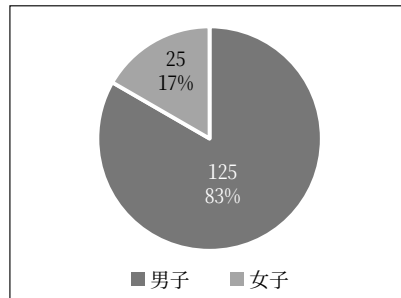
- ・183社のうち56社（31%）で150名の採用があり、このうち25名（17%）が女性であり、技術者14名、事務等11名となっている。

【採用実績】



合計150名

【採用実績男女別】



合計150名

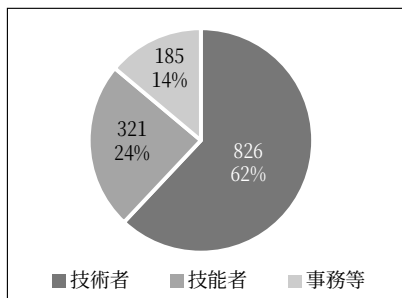
【職種別採用実績】

	男性	女性	計
技術者	75	14 (16%)	89
技能者	33	0 (0%)	33
事務等	17	11 (39%)	28
計	125	25 (17%)	150

(3) 今後5年間の採用計画

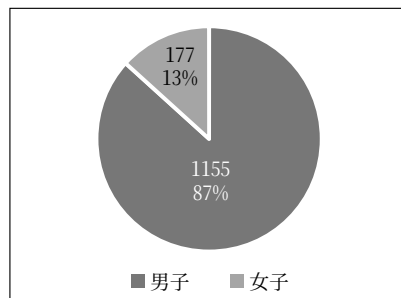
- ・183社で今後5年間では退職見込み523名の約2.5倍の1,332名の採用が計画され、177名（13%）が女性であり、技術者は102名、技能者は12名、事務等が63名となっている。

【採用計画】



合計1,332名

【採用計画男女別】



合計1,332名

【職種別採用計画】

	男性	女性	計
技術者	724	102 (12%)	826
技能者	309	12 (4%)	321
事務等	122	63 (34%)	185
計	1,155	177 (13%)	1,332

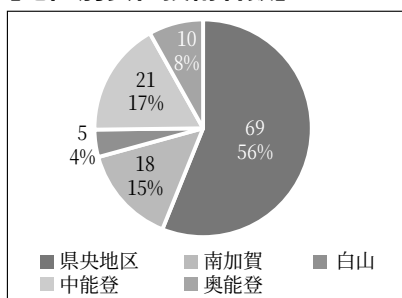
(4) 女性技術者

女性技術者は53社に123名が在籍し、全技術者2,536名に対して5%である。

地区別では県央地区に69名（56%）、南加賀地区に18名（15%）、白山地区に5名（4%）、中能登地区に21名（17%）、奥能登地区に10名（8%）と県内各地に勤務している。

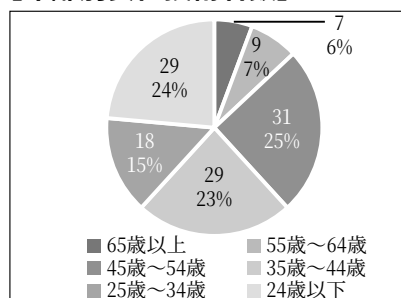
また、女性技術者の年齢構成は55歳以上16名（13%）、34歳以下が47名（39%）と若手担い手が多い現状となっている。今後は若手担い手、技術者確保の観点から若手女性技術者の離職防止と産休・育休からの復職対策など女性活躍推進に向けて働きやすい職場環境づくりが望まれる。

【地区別女性技術者数】



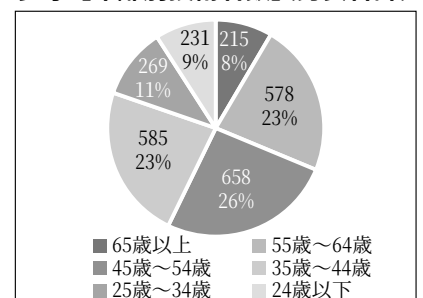
合計123名

【年齢別女性技術者数】



合計123名

参考：【年齢別技術者数】(男女合計)



合計2,536名

本アンケートにご協力をいただいた皆様にあたためて感謝を申し上げます。

平成30年度「建設業取引適正化推進月間」実施要領

建設業取引の適正化については、従来より建設業法の厳正な運用と不正行為の未然防止を図るとともに、建設業法令遵守ガイドラインの周知等を通じ、その推進を図ってきたところである。

しかしながら、依然として元請負人から下請負人への違法・不当なしわ寄せ等について指摘があることから、建設業取引の適正化をより一層推進し、元請負人と下請負人との対等な関係の構築及び公正かつ透明な取引の実現を図ることが必要である。

このため、毎年11月を「建設業取引適正化推進月間」（以下「月間」という。）とし、この期間に建設業取引の適正化に関する普及・啓発活動を集中的に行っているところであり、平成30年度については、下記により実施することとする。

記

1. 期 間

平成30年11月1日～30日

2. 主 催

国土交通省及び都道府県

3. 協 賛

公益財団法人建設業適正取引推進機構

4. 主な取組み

(1)建設業取引の適正化に関する普及・啓発活動

月間は、建設業者等に対して建設業取引の適正化に関する普及・啓発活動を行う重要な機会であるため、次に掲げる方法等により、その実施について幅広く周知する。

- ① 地方整備局（北海道開発局及び沖縄総合事務局を含む。以下同じ。）、都道府県及び建設業関係団体への通知文発出
- ② 専門紙、雑誌、インターネット等を通じた広報
- ③ 地方整備局、都道府県及び建設業関係団体のホームページ等を活用した広報
- ④ 国土交通本省、地方整備局、都道府県及び建設業関係団体の施設におけるポスターの掲示

(2)講習会

① 講習会の開催

建設業取引の適正化をより一層推進するため、建設業者等を対象として、建設業取引の適正化に関する講習会を、月間内を中心に開催する。

② 留意事項等

建設業取引の適正化を推進するため、建設業法、建設業法令遵守ガイドライン及び下請取引の改善に向けた通知、建設業フォローアップ相談ダイヤル、駆け込みホットライン及び建設業取引適正化センター等の各種相談窓口等について周知する。

(3)立入検査

月間内は、地方整備局又は都道府県が常時行う立入検査を重点的に実施するとともに、必要に応じ、地方整備局及び都道府県による合同での立入検査として実施する。なお、立入検査の結果、法令違反や不適切な行為が見受けられた場合は、必要に応じて指導・監督を行う。

また、立入検査（合同立入検査を含む。）を実施する際は、各種相談窓口についての周知も併せて行うこととする。

(4)その他

上記のほか、地方整備局及び都道府県は、建設業取引の適正化の確保に向け、自主的な取組の実施に努める。

会 員 消 息

今月は届出はありませんでした。なお、変更等があった時点で届出頂くようお願い致します。

県協会からのお知らせ

平成30年10月行事予定

- 10月 3日(水) 正副会長会議
常任理事会
組合 事業運営委員会
- 4日(木) 2級土木施工管理技術検定試験(学科・実地)
受験準備講習
平成30年度家畜伝染病防疫訓練
(宝達志水町産業センターほか)
- 5日(金) 2級土木施工管理技術検定試験(学科・実地)
受験準備講習
ゴルフ大会 (能登カントリークラブ)
- 6日(土) 情報共有システム講習会
- 8日(月) はだしの王国 (奥卯辰山健民公園)
金沢城公園鼠多門橋整備工事 安全祈願祭・起
工式 (鼠多門現地)
- 9日(火) 土木委員会工事設計施工現地検討会班長会議
- 10日(水) 加賀地区合同建築委員会 (加賀建設業協会)
2級土木施工管理技術検定受験対策
(珠洲建設業協会)
第1回北陸インフラメンテナンスフォーラム
(新潟県自治会館)
- 11日(木) 2級土木施工管理技術検定受験対策
(珠洲建設業協会)
土地改良委員会 第1回技術検討部会
土木委員会 総務部会・懇話会合同会議
石川県交通安全県民大会
(石川県地場産業振興センター)
- 12日(金) 増田優一氏講演会(主催:舗装業協会)
(金沢東急ホテル)
- 15日(月) 建設発生土官民有効利用マッチング説明会
(北陸地方整備局)
建設資材対策北陸地方連絡会(北陸地方整備局)
- 16日(火) 北陸建設業協会地域懇談会 (ホテル日航金沢)
- 17日(水) ドローン講習会
- 18日(木) 土木部防災訓練(予備日24日)
会報編集委員会
- 19日(金) 土地改良委員会 第2回役員会
- 20日(土) ドローン講習会 (金沢市七曲)
- 22日(月) 広報・研修委員会 企画部会
能登地区合同建築委員会(七尾鹿島建設業協会)

23日(火) 河北IT講習会(～24日)

(河北郡市土建協同組合)

登録解体工事講習 (7階 ホール)

土木委員会 役員会・懇話会合同会議

(金沢市内会議所)

25日(木) 建設技術報告会

(石川県地場産業振興センター(本館))

29日(月) 事務局打合せ

30日(火) i-con 経営者向け講習会

北陸地方整備局営繕部との建築工事懇談会

(ホテル日航金沢)

31日(水) 土木委員会ゴルフコンペ(片山津ゴルフ倶楽部)

平成30年11月以降の行事予定

11月 1日(木) 全国建設労働問題連絡協議会〔全建〕

(東京 鉄鋼会館)

石川県商工会連合会 大会 (金沢流通会館)

2日(金) 正副会長会議

5日(月) 東日本建設業保証(株) 役員・参与懇談会

(東京 パレスホテル東京)

7日(水) 地区協会打合せ(羽咋工業高校意見交換会)

(羽咋郡市地区協会)

石川県産業教育振興会 研究協議会

(石川県地場産業振興センター)

8日(木) 平成30年暴力団追放石川県民大会

(こまつ芸術劇場うらら)

9日(金) 建設青年委員会 講演会

13日(火) 登録解体工事講習会(能登会場)(奥能登総合
事務所41会議室)

14日(水) 褒章祝賀会

15日(木) 石川県土木施工管理技士会現場研修会

(金沢市内(金沢港、月浦トンネル))

中部・北陸ブロック事務担当者会議〔建退共〕

(福井 ユアーズホテルフクイ)

石川県生コンクリート工業組合 設立40周年記
念式典 (ホテル日航金沢)

19日(月) 平成30年度保証事業石川協議会定例会・懇談会
(KKR ホテル金沢)

27日(火) 施策提案 県農林水産部長、手取川事業所、西
北陸 (県庁、手取川事業所、西北陸)

28日(水) 施策提案 奥能登農林、中能登農林

(奥能登農林、中能登農林)

30日(金) 地区協会 合同研修会

- 12月 3日(月) 正副会長会議
 施策提案 南加賀農林 (南加賀農林)
 6日(木) 施策提案 石川農林、県央農林
 (施策提案 石川農林、県央農林)
 14日(金) 全国技士会連合会事務局長・実務担当者合同会議
 (東京 アルカディア市ヶ谷)
 19日(水) 理事会・知事懇談会 (金沢ニューグランドホテル)
 平成31年
 1月18日(金) 全国建産連 理事会・協議員会
 21日(月) 講演会・新年祝賀会 (ホテル日航金沢)
 2月 7日(木) 北陸地方整備局との意見交換会

「協会報」への随筆等投稿（お願い）

- ①随筆文字数 400字詰め原稿用紙3枚（1,200字以上）
 ②投稿の期日 毎月25日頃（翌月号の編集締切り）
 ③協会報の発行 毎月1日発行
 （毎月10日前後納入、会員送付）
 ④謝礼 投稿頂いた記事について薄謝贈呈

（注）お問い合わせは、
 （一社）石川県建設業協会事務局広報担当
 TEL 076-242-1161（代）内線40番

地区協会からのお知らせ

（一社）金沢建設業協会

- 《行事予定》
 10月 1日(月) 金沢マラソンボランティア説明会
 2日(火) テレビ講座
 座談会
 青年：幹事会
 11日(木) 土木：環境情報委員会安全パトロール
 12日(金) 土木：施工管理委員会安全パトロール
 15日(月) 記念事業推進検討部会
 土木：県央土木総合事務所との意見交換会
 16日(火) 土木：舗装委員会安全パトロール
 青年：情報発信セクション
 18日(木) 青年：視察研修（～19日）
 22日(月) 青年：技術防災セクション
 23日(火) 土木：安全対策委員会安全パトロール
 24日(水) 緑化基金への寄付
 金沢市との意見交換会
 緑化推進事業植樹式
 25日(木) BCP訓練
 28日(日) 金沢マラソンボランティア活動
 30日(火) 現場責任者研修会

（一社）加賀建設業協会

- 《行事予定》
 10月 2日(火) 監理技術者講習会
 5日(金) 南加賀土木総合事務所
 けんせつ小町座談会
 16日(火) 小松工業高校インターンシップ（～18日）
 30日(火) 加賀市土木課と当協会土木委員会との意見交換会
 下旬 建災防加賀分会 安全パトロール
 下旬 大聖寺土木事務所 除雪会議

（一社）小松能美建設業協会

- 《行事予定》
 10月 3日(水) 小松能美農林安全対策協議会
 13日(土) 小松どんどんまつり・あんどん行列参加
 下旬 道路アドプト活動

（一社）白山野々市建設業協会

- 《行事予定》
 10月15日(月) 白山市議会産業建設委員会意見交換会
 20日(土) セブ用水清掃ボランティア
 29日(月) 白山市議会との意見交換会
 30日(火) 石川土木若手技師と勉強会

河北郡市土建協同組合

- 《行事予定》
 10月10日(水) 第2回監理技術者講習会
 23日(火) 「クラウドが変える建設業の業務」CPDS認定講習会（～24日）

（一社）羽咋郡市建設業協会

- 《行事予定》
 10月 5日(金) 県協会懇親ゴルフコンペ
 4日(木) 管内4工場の生コン品質管理監査（～16日）
 7日(日) 建設機械試乗会
 羽咋市「はくい福祉まつり」と合わせて開催
 10日(水) 第15回「小学生の見た建設の絵」入賞作品の審査会
 中旬 管内5箇所での建設の絵入賞作品の展示会開催（～11月下旬）
 18日(木) 監理技術者講習会
 24日(水) 農林工事安全パトロール
 中能登農林総合事務所との意見交換会開催
 30日(火) 役員会

（一社）七尾鹿島建設業協会

- 《行事予定》
 10月 5日(金) 建築委員会定例会
 18日(木) 土木委員会研修視察（～20日）

- 《お知らせ》
 12月 5日(水) 監理技術者講習会

（一社）鳳輪建設業協会

- 《行事予定》
 10月 1日(月) 能登産業技術専門校後期入校式
 10日(水) 正副会長会議、理事会

- 《お知らせ》
 11月 6日(火) 奥能登土木委員会と奥能登土木総合事務所との意見交換会

（一社）珠洲建設業協会

- 《行事予定》
 10月 1日(月) 石川県立能登産業技術専門校入校式
 10日(水) 2級土木施工管理技術検定試験受験準備講座（～11日）
 12日(金) 理事会
 25日(木) 土木部会視察研修（～26日）